

2026年3月期 第1四半期決算

説明資料

2025年8月5日(火)

2026年3月期 第1四半期決算概要

連結対象会社

項目	2025年3月期末 (A)	2026年3月期 第1四半期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘 要
連結 子会社数	34社	45社	11社	+ LANXESS Solutions Australia Pty. Ltd. + SISTEMAS DE URETANOS DO BRASIL LTDA. + Urethane Systems Canada Ltd. + Chemtura China Holding Co., Ltd. + LANXESS Advanced Materials (Nantong) Co., Ltd. + Elfte LXS GmbH + LANXESS SOLUTIONS INDIA PRIVATE LIMITED + LANXESS Solutions Italy S.r.l. + LANXESS Sales Netherlands B.V. + LANXESS Urethanes UK LTD + URETHANE SYSTEMS USA LLC
持分法 適用会社数	17社	17社	—	
計	51社	62社	11社	

環境要因

項 目				2025年3月期 第1四半期 (A)	2026年3月期 第1四半期 (B)	差 異 (B) - (A)
為替レート		円/\$		155.9	144.6	△ 11.3
資材価格	ナフサ	CIF	\$/t	717	631	△ 86
		国産	円/KL	79,000	66,100	△ 12,900
	豪州炭 (CIF)		\$/t	162.5	138.3	△ 24.3
			円/t	25,331	19,990	△ 5,341

主要項目

(単位:億円)

項 目	2025年3月期 第1四半期 (A)	2026年3月期 第1四半期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	1,154	1,005	△ 149	△ 12.9%
EBITDA	97	89	△ 8	△ 8.1%
営業利益	29	30	0	1.5%
経常利益	70	62	△ 8	△ 10.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	48	44	△ 4	△ 9.2%

セグメント変更

旧セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル <u>高機能コーティング</u> エラストマー
機械	
その他	医薬 電力 販社等

新セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
<u>高機能ウレタン</u> <u>(新規)</u>	<u>ウレタンシステムズ(新規)</u> <u>高機能コーティング(異動)</u>
<u>医薬</u> <u>(独立)</u>	
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル エラストマー
機械	
その他	電力 販社等

セグメント別 売上高/営業利益

(単位:億円)

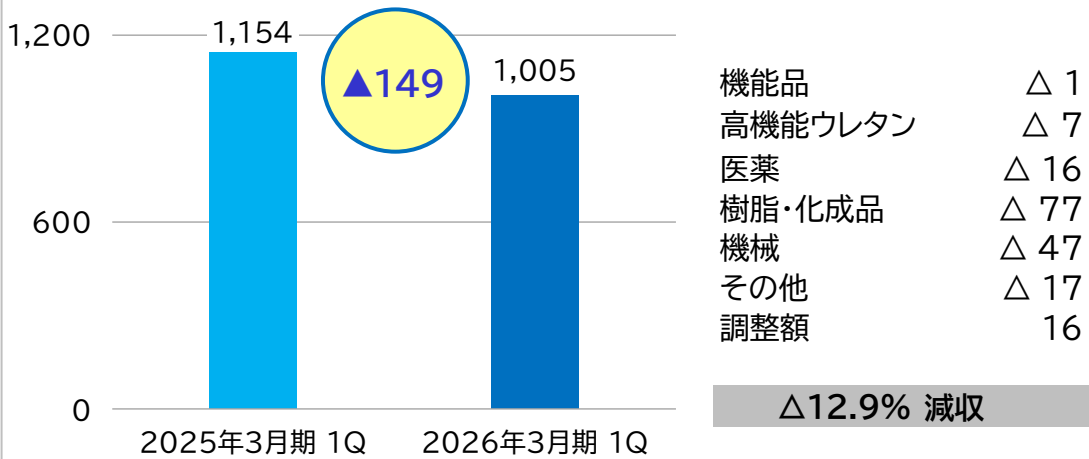
	セグメント	2025年3月期 第1四半期 (A)	2026年3月期 第1四半期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	機能品	151	150	△ 1	△ 0.9%
	高機能ウレタン	38	32	△ 7	△ 17.4%
	医薬	59	43	△ 16	△ 27.7%
	樹脂・化成品	675	597	△ 77	△ 11.4%
	機械	192	145	△ 47	△ 24.3%
	その他	104	86	△ 17	△ 16.8%
	調整額	△ 65	△ 48	16	-
	計	1,154	1,005	△ 149	△ 12.9%
営業利益	機能品	22	19	△ 3	△ 15.0%
	高機能ウレタン	7	△ 4	△ 11	-
	医薬	△ 2	△ 6	△ 4	-
	樹脂・化成品	△ 7	13	20	-
	機械	10	11	1	5.5%
	その他	5	5	0	6.1%
	調整額	△ 6	△ 8	△ 2	-
	計	29	30	0	1.5%

(注) 2026年3月期より、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分から「機能品」「高機能ウレタン」「医薬」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の6区分に変更しています。
 なお、2025年3月期第1四半期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

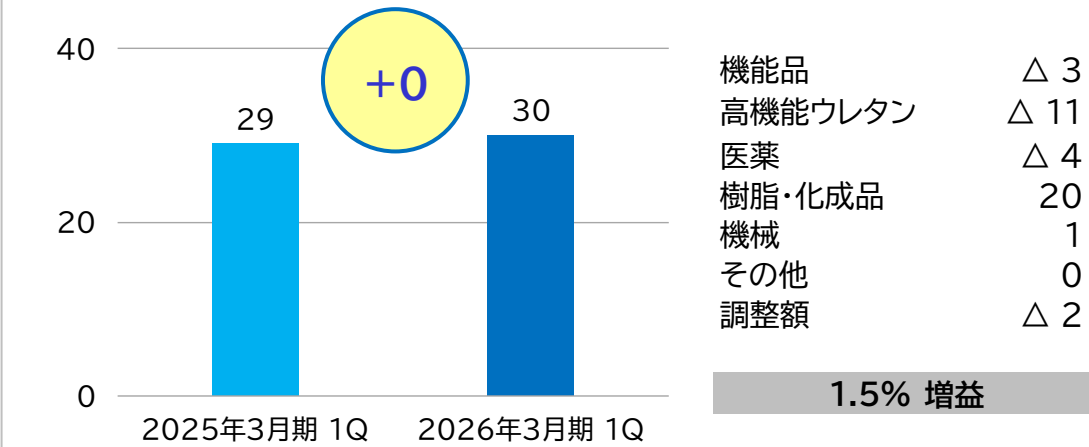
差異分析 全社

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

- 売上高:減収
- 樹脂・化成品 : ナイロンポリマー、カプロラクタム等の販売が低迷
 - 機械 : 前年度第3四半期に製鋼事業の経営権を譲渡
- 営業利益:増益
- 高機能ウレタン : 高機能コーティングの海外での販売が低調
 - 樹脂・化成品 : エラストマーの販売が堅調

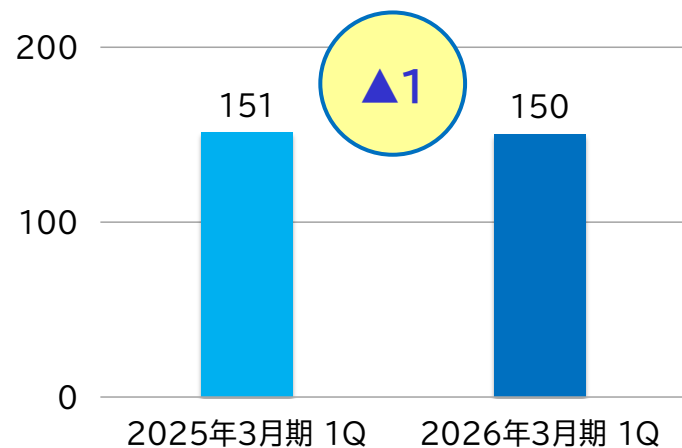
営業利益差異

価格差 ※1	23	
数量差	△ 9	
固定費ほか ※2	△ 13	※1:資材単価差含む ※2:在庫評価差含む
計	0	

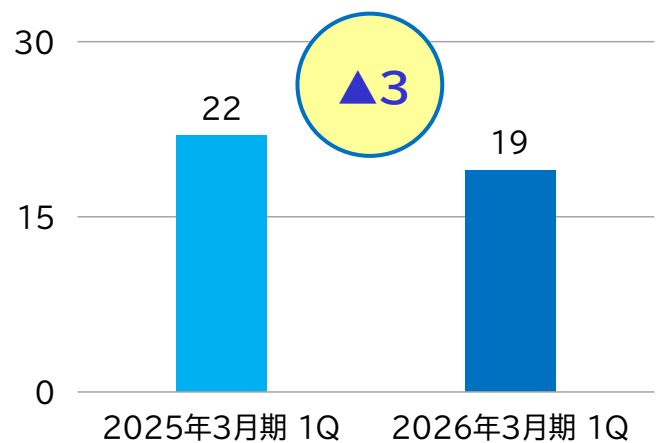
差異分析 機能品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- ・ ポリイミド :ワニスの販売が低調
- ・ 分離膜 :一部顧客における在庫調整等の影響が継続
- ・ セラミックス :電動車市場の成長鈍化による軸受・基板用途の販売が低迷
- ・ セパレータ :ハイブリッド自動車向けの需要増加等に伴い販売数量が増加

営業利益:減益

- ・ ポリイミド、分離膜、セラミックスの販売が低調

営業利益差異

価格差 ※1 2

数量差 △ 4

固定費ほか ※2 △ 1

計 △ 3

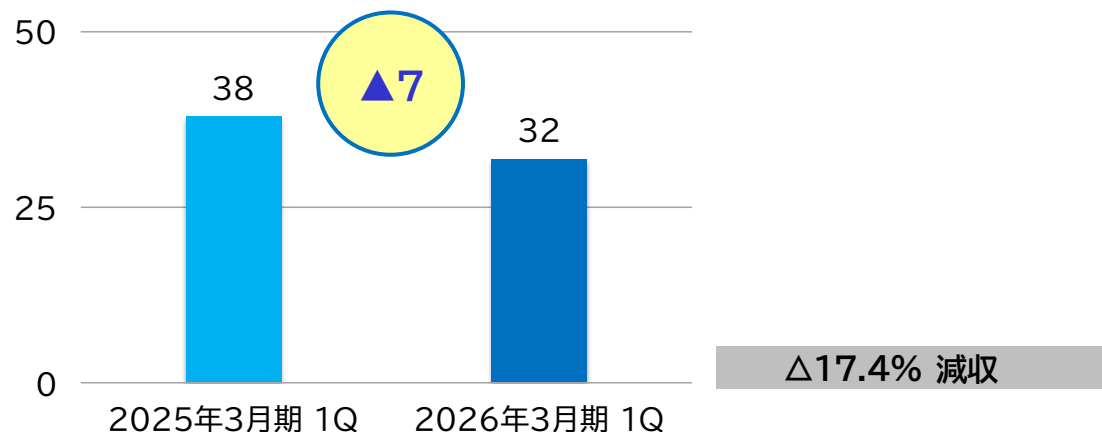
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

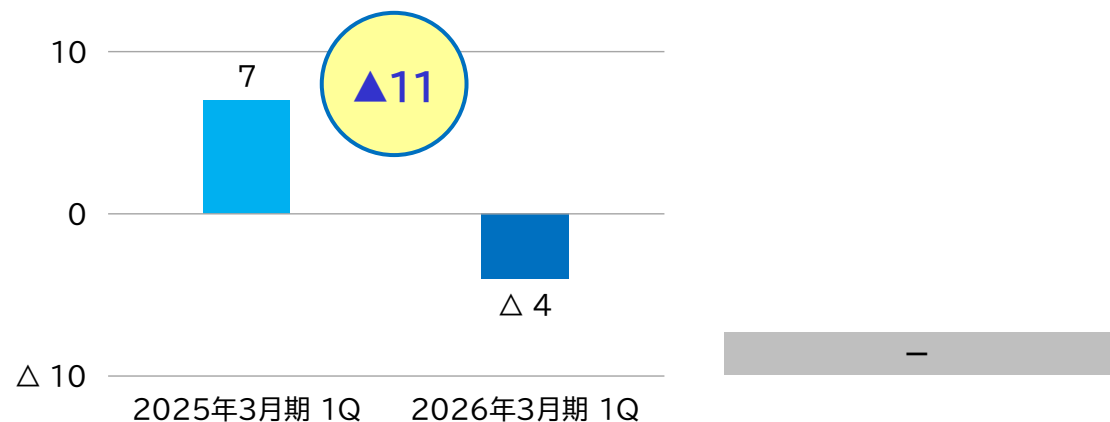
差異分析 高機能ウレタン

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 高機能コーティング :海外での販売が低調

営業利益:減益

- 高機能コーティングの海外での販売が低調

(注)2025年4月に取得したウレタンシステムズ事業は、同事業を構成する各社が12月決算のため、当第1四半期連結の売上高及び営業利益には計上されていません。

営業利益差異

価格差 ※1	△ 3
--------	-----

数量差	△ 1
-----	-----

固定費ほか ※2	△ 7
----------	-----

計	△ 11
---	------

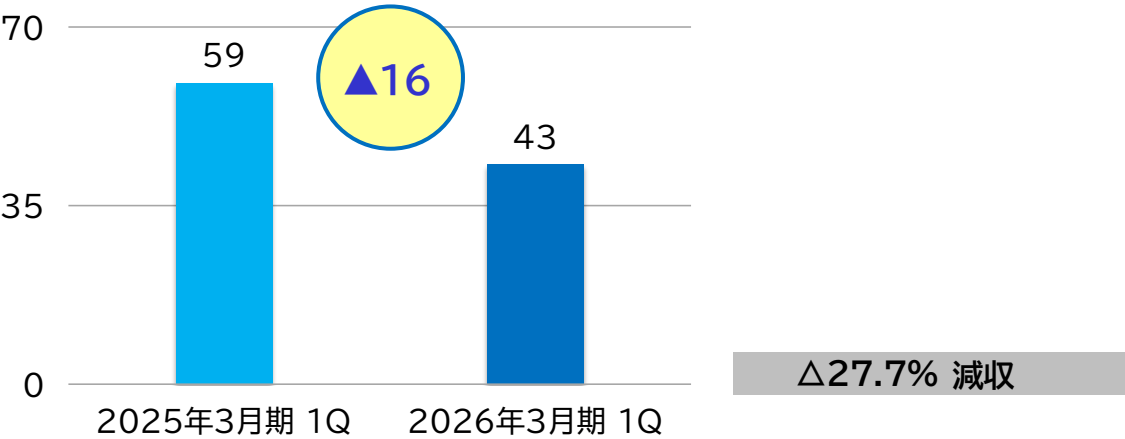
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

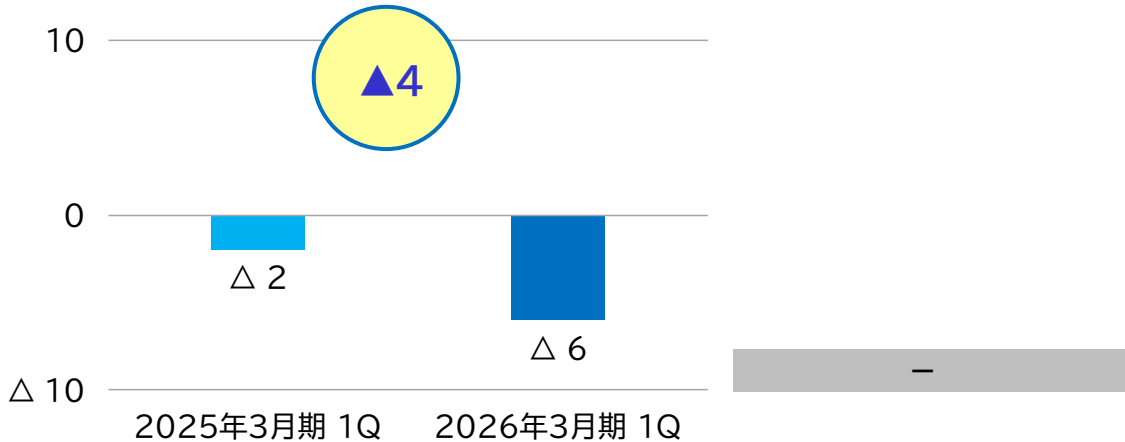
差異分析 医薬

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 医薬 :ロイヤリティ収入の減少及び受託品の販売数量の減少

営業利益:減益

- ロイヤリティ収入の減少及び受託品の販売数量の減少

営業利益差異

価格差 ※1 △ 0

数量差 △ 3

固定費ほか ※2 △ 0

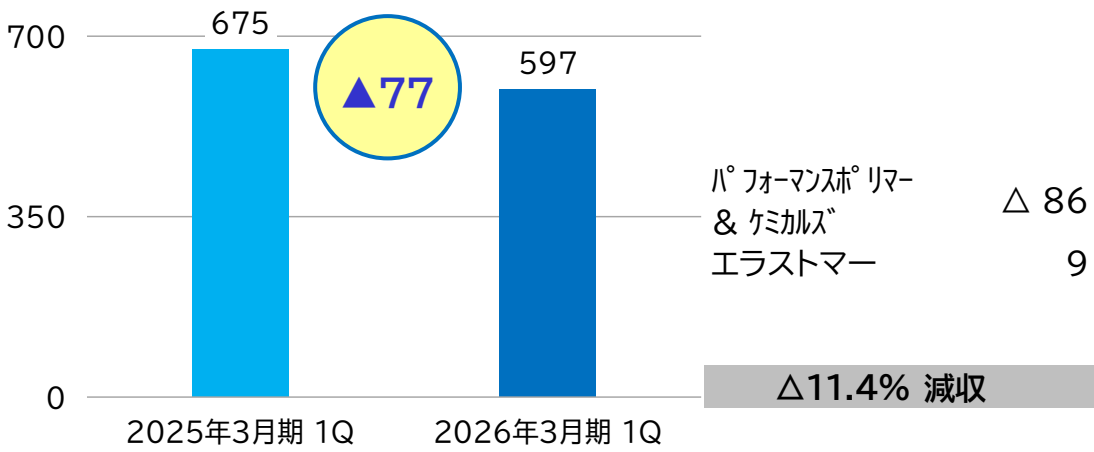
計 △ 4

※1:資材単価差含む
※2:在庫評価差含む

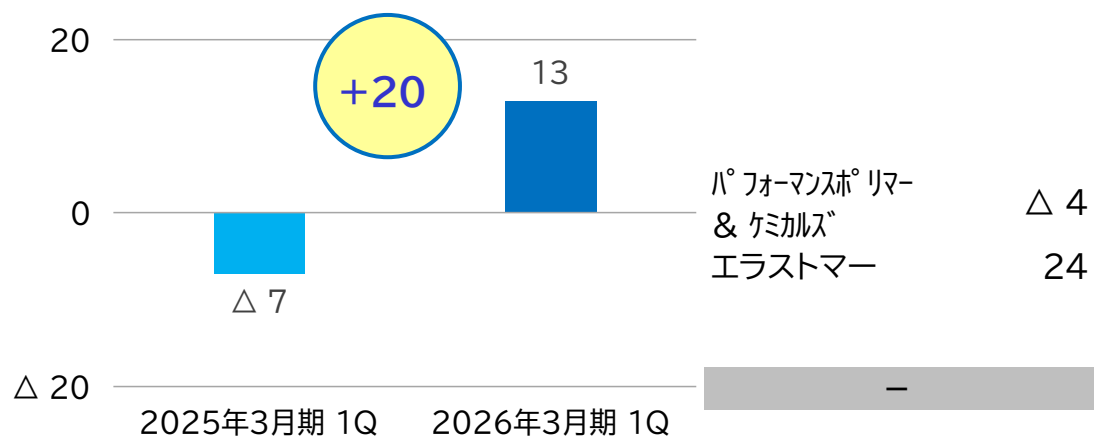
差異分析 樹脂・化成品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- ・ ナイロンポリマー :海外での食品包装フィルム用途等の需要低迷による販売数量減少、販売価格下落
- ・ ラクタム・硫安 :競争激化による販売数量減少、販売価格下落

営業利益:増益

- ・ アンモニア工場が非定期修理年であるため、販売数量が増加
- ・ エラストマーの販売が堅調

営業利益差異

価格差 ※1	31
数量差	$\Delta 1$
固定費ほか ※2	$\Delta 10$
計	20

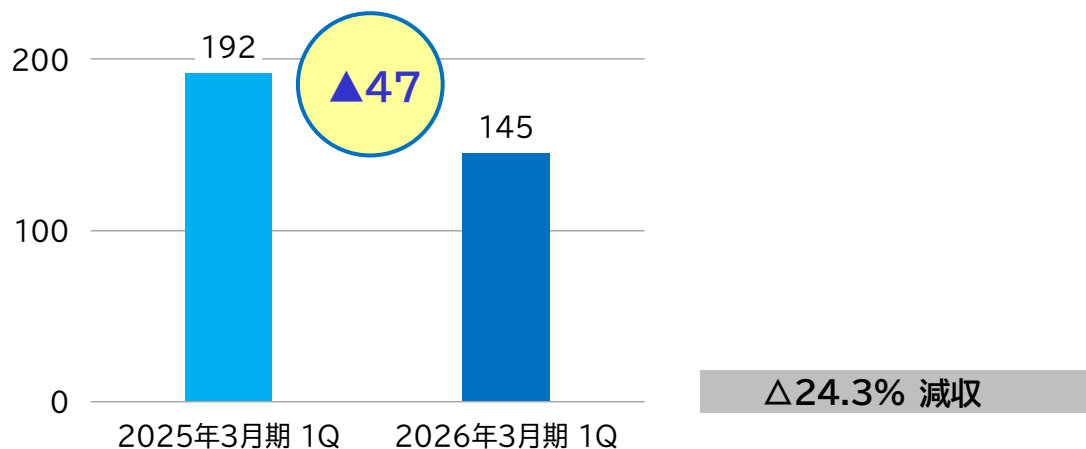
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

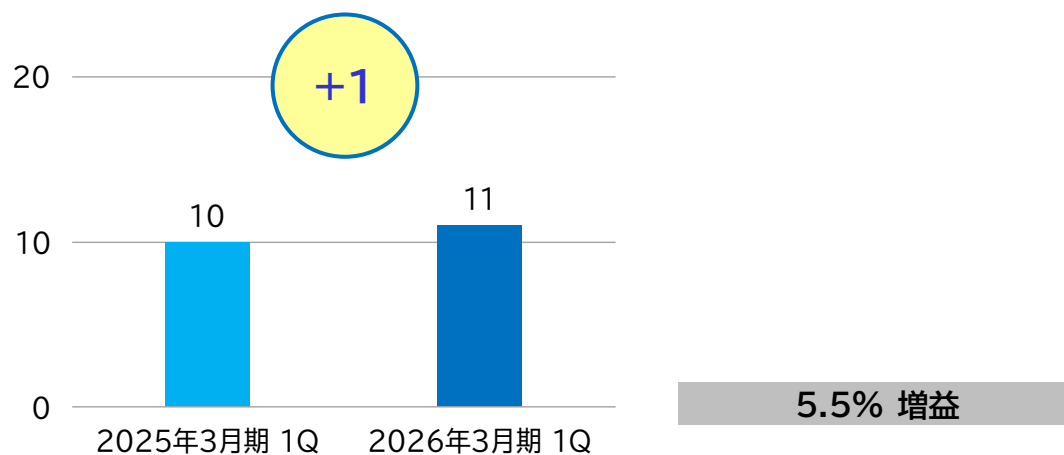
差異分析 機械

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 前年度第3四半期に製鋼事業の経営権を譲渡

営業利益:増益

- 成形機事業が堅調

営業利益差異

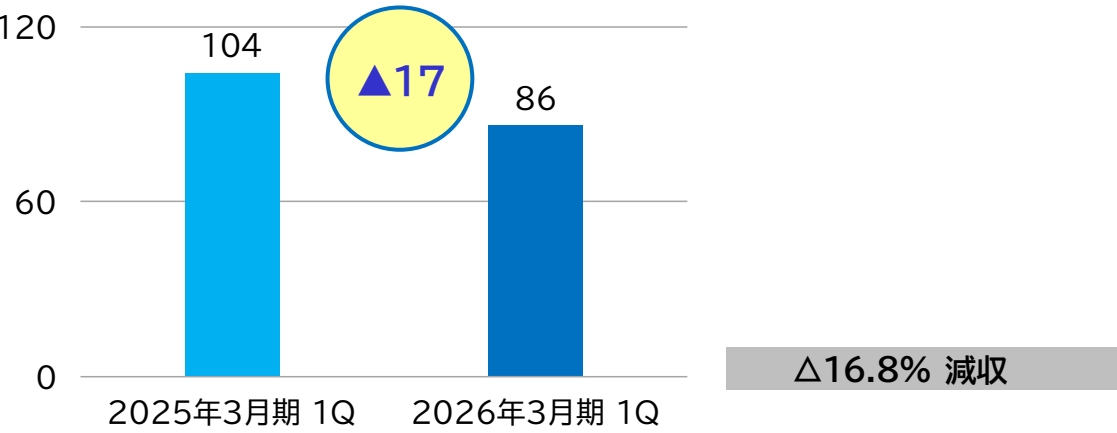
機械部門限界利益 △9

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

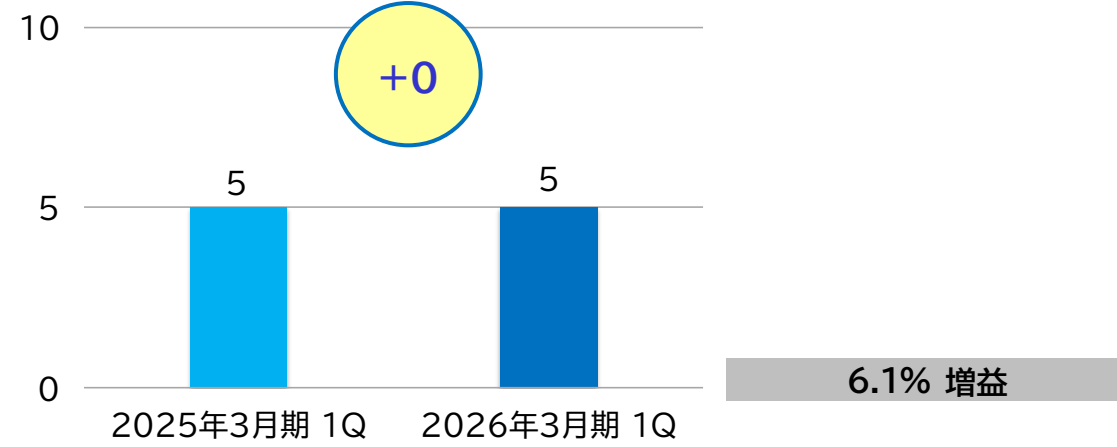
差異分析 その他

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 電力 :石炭価格の下落に伴い売電価格が下落

営業利益:増益

- 自家発電所が非定期修理年であるため補修費が減少

営業利益差異

価格差 ※1	△ 8	※1:資材単価差含む
数量差	1	
固定費ほか	8	
計	0	

営業利益～四半期純利益

(単位:億円)

項 目	2025年3月期 第1四半期 (A)	2026年3月期 第1四半期 (B)	差 異 (B) - (A)
営業利益	29	30	0
営業外損益	41	33	△ 8
金融収支	1	△ 5	△ 6
持分法投資損益	39	40	1
うちUBE三菱セメントグループに係る持分法投資損益	40	34	△ 7
為替差損益	7	△ 1	△ 8
その他	△ 6	△ 1	5
経常利益	70	62	△ 8
特別損益	2	△ 3	△ 6
税金等調整前四半期純利益	72	59	△ 13
法人税等・非支配株主利益	△ 24	△ 15	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	48	44	△ 4
1株当たり四半期純利益	49.49円	44.90円	△ 4.59円

貸借対照表

(単位:億円)

項 目		2025年3月期末 (A)	2026年3月期 第1四半期末 (B)	差 異 (B) - (A)
資 産	流動資産	3,584	2,885	△ 699
	固定資産	5,071	5,585	515
	合 計	8,657	8,472	△ 184
負 債	有利子負債	3,305	3,167	△ 138
	その他負債	1,231	1,205	△ 26
	計	4,537	4,372	△ 164
純 資 産	自己資本 *	3,951	3,929	△ 22
	非支配株主持分他	169	172	2
	計	4,120	4,100	△ 20
負債・純資産合計		8,657	8,472	△ 184

*「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

項 目	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	
A.営業活動によるCF	17	209	税金等調整前四半期純利益 59 減価償却費 59 運転資金の増減 126 他
B.投資活動によるCF	△ 180	△ 770	連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 △715 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△ 163	△ 561	
C.財務活動によるCF	117	△ 203	有利子負債の増減 △148 配当金の支払 △55 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	△ 33	△ 749	
E.現金及び現金同等物の四半期末残高	326	406	

參考資料

主要項目 進捗率

(単位:億円)

項 目	2025年3月期 (A)		2026年3月期 (B)		差 異 (B) - (A)	
		第1四半期実績 (進捗率)		第1四半期実績 (進捗率)		第1四半期実績
売上高	4,868	1,154 (23.7%)	4,900	1,005 (20.5%)	32	△ 149
EBITDA	455	97 (21.4%)	550	89 (16.3%)	95	△ 8
営業利益	180	29 (16.1%)	250	30 (11.8%)	70	0
経常利益	224	70 (31.1%)	375	62 (16.6%)	151	△ 8
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△ 48	48 (-%)	275	44 (15.9%)	323	△ 4

売上高 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	150	—	—	—	150	710	21.1%
高機能ウレタン	32	—	—	—	32	510	6.2%
医薬	43	—	—	—	43	240	17.9%
樹脂・化成品	597	—	—	—	597	2,570	23.2%
機械	145	—	—	—	145	760	19.1%
その他	86	—	—	—	86	355	24.3%
調整額	△ 48	—	—	—	△ 48	△ 245	—%
計	1,005	—	—	—	1,005	4,900	20.5%

営業利益 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	19	—	—	—	19	135	13.9%
高機能ウレタン	△ 4	—	—	—	△ 4	20	—%
医薬	△ 6	—	—	—	△ 6	10	—%
樹脂・化成品	13	—	—	—	13	60	21.9%
機械	11	—	—	—	11	65	16.2%
その他	5	—	—	—	5	20	26.0%
調整額	△ 8	—	—	—	△ 8	△ 60	—%
計	30	—	—	—	30	250	11.8%

売上高 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2025年3月期 第4四半期 (A)	2026年3月期 第1四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	187	150	△ 37	
高機能ウレタン	42	32	△ 10	
医薬	63	43	△ 20	
樹脂・化成品	696	597	△ 99	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 89 エラストマー △ 10
機械	245	145	△ 99	
その他	97	86	△ 11	
調整額	△ 57	△ 48	9	
計	1,272	1,005	△ 267	

(注) 2026年3月期より、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分から「機能品」「高機能ウレタン」「医薬」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の6区分に変更しています。
なお、2025年3月期第4四半期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

営業利益 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2025年3月期 第4四半期 (A)	2026年3月期 第1四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	46	19	△ 27	
高機能ウレタン	△ 3	△ 4	△ 1	
医薬	2	△ 6	△ 8	
樹脂・化成品	17	13	△ 3	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 14 エラストマー 11
機械	30	11	△ 19	
その他	5	5	1	
調整額	△ 11	△ 8	3	
計	85	30	△ 56	

(注) 2026年3月期より、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分から「機能品」「高機能ウレタン」「医薬」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の6区分に変更しています。
なお、2025年3月期第4四半期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位:億円)

	ポートフォリオ	2025年3月期 第1四半期 (A)	2026年3月期 第1四半期 (B)	差異 (B) - (A)	2026年3月期 通期予想	進捗率
売上高	スペシャリティ事業	392	372	△ 20	2,050	18.1%
	構造改革事業	508	447	△ 61	1,940	23.0%
	機械事業	192	145	△ 47	760	19.1%
	その他(調整額を含む)	63	41	△ 22	150	27.1%
	計	1,154	1,005	△ 149	4,900	20.5%
営業利益	スペシャリティ事業	40	38	△ 1	215	17.9%
	構造改革事業	△ 15	△ 14	0	30	—
	機械事業	10	11	1	65	16.2%
	その他(調整額を含む)	△ 6	△ 5	1	△ 60	—
	計	29	30	0	250	11.8%

(注) 2026年3月期より、ポートフォリオ区分を変更しています。なお、2025年3月期第1四半期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

UBE三菱セメント

■UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書 (単位:億円)

項 目		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	2026年3月期 通期 (2025/5公表)
売上高	国内事業	906	857	3,800
	海外事業	528	450	1,900
	計	1,434	1,308	5,700
営業利益	国内事業	25	21	220
	海外事業	114	89	300
	計	138	110	520
経常利益		151	120	520
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		78	65	280

■UBE(株) 持分法投資損益

持分法による投資利益	40	34
------------	----	----

■UBE三菱セメント(株) 定量情報

項 目		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	2026年3月期 通期 (2025/5公表)
セメント(国内)総需要	(万t)	816	764	3,200
セメント(国内)販売数量	(万t)	192	187	775
セメント(米国)販売数量	(万st)	42	42	170
生コン(米国)販売数量	(万cy)	182	164	670
一般炭価格(参考指標)	(\$/t)	136	100	150
ドル為替レート	(円/ドル)	155	145	145

※ 上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考)2026年3月期 第1四半期末 連結貸借対照表 (単位:億円)

総資産	7,927	有利子負債	1,937	自己資本	3,441
自己資本比率	43.4%	D/Eレシオ	0.56倍		

- 国内事業：
セメント値上げや熱エネルギー価格低下の効果はあるものの、IPP発電所における2年に1度の定期修理の影響による売電数量減少等により、国内事業全体では減収減益となった。
 - 海外事業：
米国事業は、域内需要が弱含みで推移したことに伴う生コンの販売数量減少により減収減益となった。一方、豪州石炭事業は販売数量・価格ともに前年比横ばいで推移し、前年並みとなった。

連結主要指標

(単位:億円)

項目	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	2026年3月期 <予想>	2025年3月期
設備投資	135	78	860	607
減価償却費	67	59	270	272
研究開発費	25	25	125	99
事業利益*	72	73	420	270
有利子負債残高	2,311	3,167	3,800	3,305
自己資本	4,180	3,929	4,100	3,951
総資産	8,075	8,472	9,500	8,657
D/Eレシオ(倍)	0.55	0.81	0.93	0.84
自己資本比率(%)	51.8	46.4	43.2	45.6
売上高営業利益率(%)	2.5	2.9	5.1	3.7
総資産事業利益率(%)	—	—	4.6	3.3
自己資本当期純利益率(%)	—	—	6.8	△ 1.2
投下資本利益率(%)	—	—	4.4	3.0

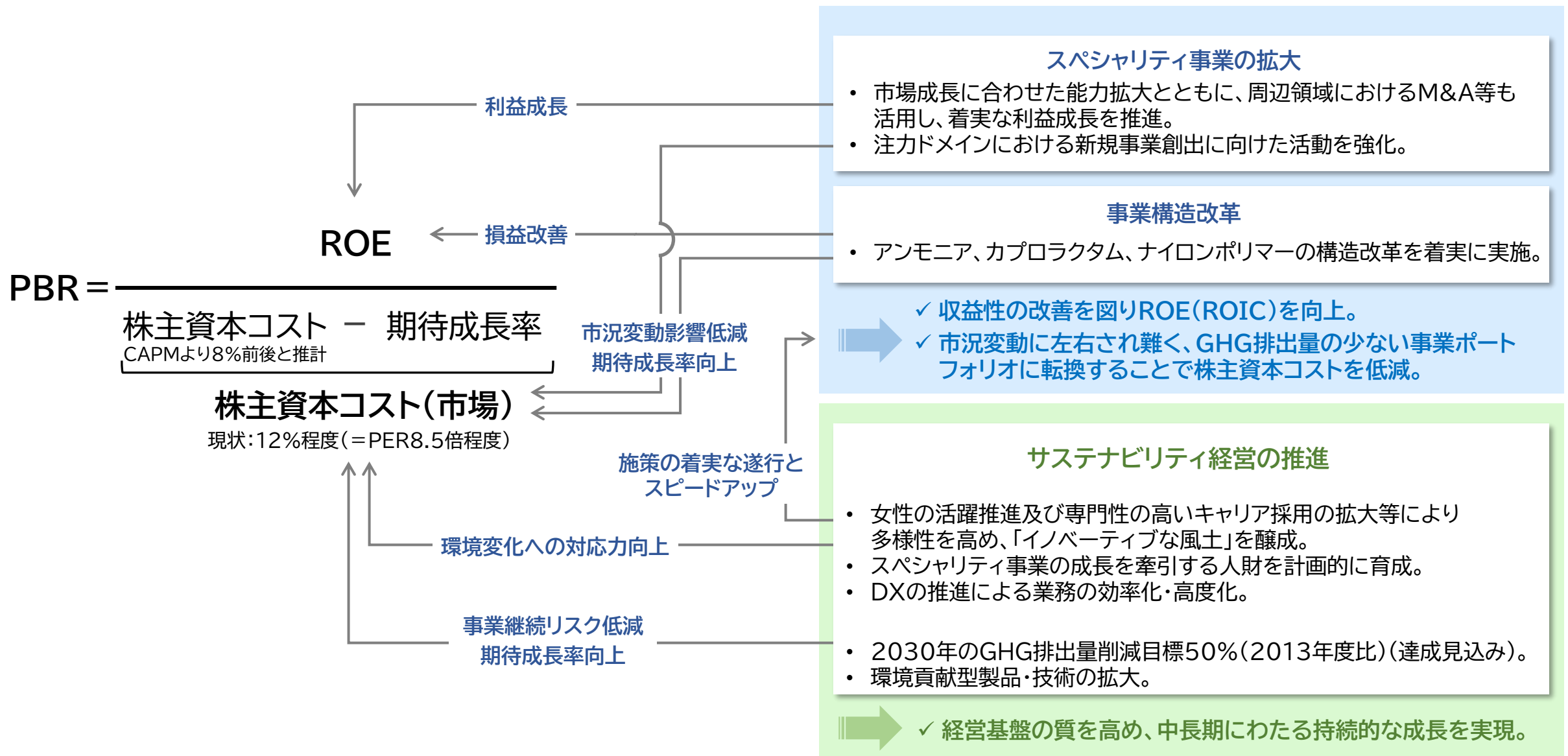
* 事業利益：営業利益＋受取利息・受取配当金＋持分法による投資損益

主要連結子会社

(単位:億円)

会 社 名	事 業 内 容	売上高 2026年3月期 第1四半期	営業利益 対2025年3月期 第1四半期
UBE CORPORATION EUROPE S.A.U.	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安、高機能コーティング等の製造・販売	132	↓
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安の製造・販売	95	↓
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエン(合成ゴム)の製造・販売	63	↑
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	26	→
宇部エクシモ株式会社	電子・情報通信関連製品等の製造・販売	32	↑
UBEマシナリー株式会社	成形機、産業機械、橋梁等の製造・販売 成形機、産業機械のアフターサービス	107	→

(注) ↑ ↓ は1億円以上の増減を示す



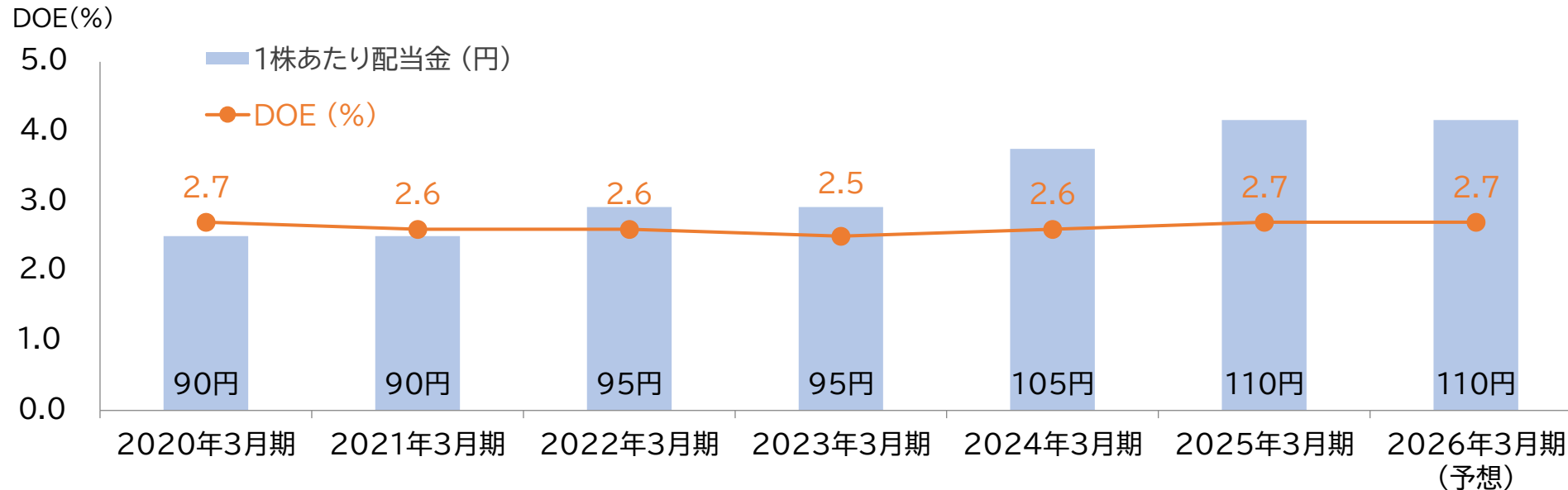
- 安定配当を基本方針とし、株主資本配当率(DOE)を2.5%以上と設定。
- 中期経営計画の進捗状況を見極めたうえで、後半3カ年には引き上げを目指す。

前中期経営計画
1st Stage(2022~2024年度)

株主資本配当率(DOE) 2.5%以上
連結総還元性向 30%以上(3カ年平均)

現中期経営計画
2nd Stage(2025~2030年度)

株主資本配当率 **2.5%以上**
(累進配当を目指す)



定常的な損益変動要因

時期	セグメント	要因
第1四半期	樹脂・化成品	アンモニア工場(宇部地区)で隔年(偶数年)に定期修理を実施。 樹脂・化成品セグメントの営業利益にマイナス影響。
	全社	自家発電設備(宇部地区)で隔年(偶数年)に定期修理を実施。 全社の営業利益にマイナス影響。
第2四半期後半 ～第3四半期	樹脂・化成品	ナイロン原料カプロラクタムの販売数量が衣料品の秋・冬物需要の影響を受け増加。 カプロラクタム事業の営業利益にプラス影響。
第4四半期	樹脂・化成品	合成ゴム工場(千葉地区)で毎年定期修理を実施。 エラストマー事業の営業利益にマイナス影響。
	機械	売上、利益の計上が集中。 成形機、産機事業の営業利益にプラス影響。

- **UBE株式会社**

- 2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算発表

- ・ 2025年11月7日 15:30

- 2026年3月期 第2四半期(中間期) アナリスト・機関投資家向け決算説明会

- ・ 2025年11月7日 18:00 ~ 18:45

- **UBE三菱セメント株式会社**

- 2026年3月期 第1四半期 決算説明会

- ・ 2025年8月19日 16:00 ~ 16:40

なお、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。



本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場等があります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用等を行うことはできません。